



©2010 熊本県くまモン #K38805

令和8年度 第37回
全国グループホーム等研修会

ともに生きる社会へ

～ 地域から始まる共生社会 ～

～多様な人々が共に暮らす地域づくり～

in
熊本



熊本城



阿蘇(中岳)火口



天草(嶋津)集落



馬刺し

ごあいさつ／大会趣旨

我が国は2014年に障害者権利条約を批准し、その基本理念は「障害の有無にかかわらず、一人ひとりの違いが尊重され、誰もが同じように生活できる社会の実現」にあります。この理念を踏まえ、第7期障害福祉計画においても、施設入所者の地域生活への移行が一層推進されています。とりわけグループホーム等の地域生活支援の場では、利用者の重度化・高齢化や特別な支援を必要とする方々が増える中、安心・安全であることに加え、本人の主体性を尊重した支援の実践が強く求められて

います。今後は制度整備にとどまらず、地域社会における支援体制の強化、本人が主体的に選択できる生活環境の整備、そして社会全体の意識改革が不可欠です。本研修会では、地域で暮らす障がいのある人々の生活をより豊かにするために、私たち支援者が果たすべき役割や支援のあり方を再確認するとともに、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指し、全国の皆さまと共に考え、学び、実践へとつなげる場としたいと考えています。

期 日

令和8年
9月10日(木)～11日(金)

会 場

ANAクラウンプラザホテル
熊本ニュースカイ

主 催

公益財団法人日本知的障害者福祉協会
九州地区知的障害者福祉協会
熊本県知的障がい者施設協会

後 援

熊本県 熊本市 熊本県社会福祉協議会
ひのくに生活サポート協会

全体スケジュール

1日目 10日(木)



2日目 11日(金)



1日目 プログラム紹介

行政説明

テーマ

「地域生活支援に係る国の施策の動向」

説明者 厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部
障害福祉課地域生活・発達障害者支援室 室長補佐 安藤 丈範 氏

基調講演

テーマ

「これからの障害福祉政策と地域生活支援の方向性」(仮題)

講師:元立教大学コミュニティ福祉学部教授 平野 方紹 氏

シンポジウム

テーマ

「声を制度に変えて来た日々」(仮題) ～障害者支援立法の舞台裏と未来～

社会福祉法人 菊愛会 理事長 最上太一郎 氏 (日本知的障害者福祉協会 前地域支援部会長/元政策委員長)
社会福祉法人 彩明会 理事長 白石 孝之 氏 (日本知的障害者福祉協会政策委員会)
コーディネーター 日本知的障害者福祉協会地域支援部会長 伊藤 淳一 氏
アドバイザー 安藤 丈範 氏/行政説明 講師
平野 方紹 氏/基調講演 講師

情報交換会

オープニングイベント(山鹿灯籠踊り)



第1 分科会

テーマ

「特別な支援が必要な方(重度・高齢・医療的)への支援体制の構築」 ～中核的人材が目指すものと地域への展開・終末期への対応～

【主旨】 特別な支援が必要な方に、私たちが出来る事とは？重い障がいがあっても環境を整え障害特性に適した支援を行う事で本人が望む暮らしが出来るのでは？終末期を迎え「どこで、だれと」どのように最後を迎えたいか？いずれも、本人の意思決定に対し私たち支援者が出来る事を皆さんと一緒に考える機会としたい。

講演:「行動障害がある方の豊かな生活を支えるために」

講師:社会福祉法人 松原愛育会 ふじのき寮(障害者支援施設)支援課長 山岸 大士 氏

講演:『終末期への対応とは』

講師:独立行政法人 国立重度知的障害者総合施設 のぞみの園 根本 昌彦 氏

鼎談:テーマ「本人が望む支援と現実とは」

登壇者 社会福祉法人 松原愛育会 ふじのき寮(障害者支援施設)支援課長 山岸 大士 氏

独立行政法人 国立重度知的障害者総合施設 のぞみの園 根本 昌彦 氏

社会福祉法人 つつじヶ丘学園 理事長 恒松 祐輔 氏

第2 分科会

テーマ

「地域での多様な暮らし方の実現に向けて(当事者の声)」

【主旨】 “どこで誰とどの様に暮らすのか” どの様に!!をクローズアップして、多様な暮らしを支える為の居宅介護等の「地域支援サービスの重要性」を皆で語り合う分科会にしたいと考えます。私達が目指すのは「当たり前の暮らしの実現」です。ライフステージを考える際、社会的自立、社会参加、結婚、子育て等、当たり前に生じてくるキーワードを正面から受け止め、実践報告を交えて夢のある議論をしていきたい。

講演:『当たり前の生活の実現に向けて～意思を実現するための支援とは～』

講師:関西福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 副研究科長 谷口 泰司 氏

【実践報告】

進 行 者 地域支援部会 関東地区代表

社会福祉法人 三富福祉会 サポートセンターハロハロ 服部 敏寛 氏

報告者① 「結婚に向き合う実践」

地域支援部会 東海地区代表

社会福祉法人 観寿々会 刈谷市つくし作業所 施設長 橋口磨理子 氏

▼地域支援部会 東海地区代表

報告者② 「強度行動障害の状態にある方の意思実現実践」

一般社団法人 夢心 施設長 的野 貴治 氏

報告者③ 「知的障害児者の社会的自立を支える実践」

社会福祉法人 若葉 施設長 村上 裕美 氏

【熊本県の子育て支援モデル事業の報告】

熊本県障がい福祉課

【シンポジウム】

テーマ:「地域支援の可能性の開放」

コーディネーター 地域支援部会関東地区代表 服部 敏寛 氏

シンポジスト登壇者 実践報告者3名

アドバイザー 関西福祉大学 教授 谷口 泰司 氏



第3 分科会

テーマ

「触法障害者の地域生活を支えるために」

【主旨】 罪を犯した知的障がいのある方はグループホーム等でも支援する機会が増えてきましたが、まだまだ受け入れに躊躇する事業所も多いのが現状です。またいわゆる逮捕後の「入口支援」では、逮捕されてから国選弁護人が付くまで数日間はサポートなしで取り調べを受けることになるなど、いまだに課題が多いとされています。刑法改正により刑務所や検察庁の機能や対応が変化する中、家庭や社会の環境に恵まれず福祉サービスに繋がらなかった障がい者が、「生きづらさ」を抱えながら犯罪を繰り返してしまう現状を、障がい者福祉に携わる私たちがどのように理解しサービスを準備していけばいいのか考えます。

講演：『触法障害者の地域生活支援の現状と課題～入口支援の取組を中心に～』

講師：島根大学人間科学部 人間科学科 准教授 京 俊輔 氏

【実践報告とシンポジウム】

テーマ：「罪を犯した障がい者と向き合い、寄り添う支援とは ～生きづらさを支えるために～」

進 行 者 日本知的障害者福祉協会地域支援部会副会長

社会福祉法人 雪の聖母園 法人本部 理事・事務局長

中川 博之 氏

助 言 者 島根大学人間科学部 人間科学科 准教授

京 俊輔 氏

報告者① 社会福祉法人 紫野の会 障害者支援施設 かりいほ 副施設長

高橋 勝博 氏

報告者② NPO法人 くらし応援ネットワーク就労移行支援事業所 ご縁

管理者 榎原早由里 氏

報告者③ 社会福祉法人 北海道社会福祉事業団

さつぽろ地域生活支援センター 所長 小松 大記 氏

テーマ

第4 分科会

「持続可能な運営と人材育成に向けたマネジメントの構築」 ～ICTの活用と多様な人材が輝く職場づくり～

【主旨】 深刻な人材不足の中、支援の質を維持し、利用者の暮らしをどう守り続けるか。本分科会では「ICTによる業務効率化」と「多様な人材の確保・育成」を柱に持続可能なGH運営のあり方を考えます。ICT活用で生まれた時間をいかに支援の充実に繋げるか。また中核的人材を中心とした人材育成を通じて外国人材や世話人が共に成長できる組織をどう築くか。現場の力を最大化するマネジメントのあり方について、実践報告を通じて皆さんと共に探求する機会としたい。

講演：『次世代型の施設運営 ～人材育成・ICTの活用～』

講師：日本福祉大学福祉経営学部 医療・福祉マネジメント学科 教授

社会福祉法人 睦月会 理事長 綿 祐二 氏

【実践報告】

報告者① 「技能実習生の受け入れ体制についての課題や展望(仮)」

社会福祉法人もえぎの会 グループホームライフ 管理者

岸本 拓人 氏

報告者② 「人材育成による支援の質の向上～中核的人材としての役割」

社会福祉法人 菊愛会 生活介護事業所すまいる 管理者

芹川 拓郎 氏

【シンポジウム】

テーマ：「ICTによる業務効率化と人材育成について」

コーディネーター 日本知的障害者福祉協会 地域支援部会副会長

社会福祉法人 同愛会 業務執行理事

伊藤 淳一 氏

シンポジスト 日本福祉大学福祉経営学部教授 社会福祉法人 睦月会 理事長

綿 祐二 氏

社会福祉法人 もえぎの会 グループホームライフ 管理者

岸本 拓人 氏

社会福祉法人 菊愛会 生活介護事業所すまいる 管理者

芹川 拓郎 氏

【お問合せ先】大会内容に関する問い合わせ先

熊本県知的障がい者施設協会

地域支援部会長 社福)菊愛会 緒方

TEL:0968-25-3811 ✉ haruta@kikuaikai.org

【事務局】参加申込みに関するお問い合わせ

名鉄観光サービス株式会社熊本支店

担当:堀川

TEL:096-354-4351

下記または右記のQRコードの申込みサイトよりお申込みください。

<http://www.mwt-mice.com/events/R8-grouphome>

